

【内子町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

内子町では、「内子町学力向上推進プラン」において、「自分の夢や目標に向かって主体的に学習に取り組む子供」、「人とのつながりを大切にし、協働的な学びを通して課題を解決する子供」の育成を目指す取組を行っている。

重点項目「具体的な手立てを基にした豊かな学びの創出（学びの過程の明確化と評価）」では、GIGAスクール用端末をはじめとするICT機器やソフトを活用して、デジタルとアナログの効果的な融合を目指している。

2. GIGA第1期の総括

GIGA第1期の実現にあたっては、端末の選定及び調達とWi-Fiネットワーク及び家庭学習の環境構築を短い期間で行ったが、教職員を対象にGoogle Workspace for Education等のクラウドツールの研修を実施するとともに、ICT支援員も活用して学校単位の個別研修も実施するなど、教職員のスキルアップに努めながらGIGAスクール端末を活用しコロナ禍を乗り越えてきた。

運用開始以降、Google Workspace for Educationを基盤として児童生徒の調べ学習や協働学習、意見発表などの場において活用し、日常的に端末を利用する機会を増やすとともに、AIドリル教材なども利用し、個々に合わせた教育の推進を図った。

3. 1人1台端末の利活用方策

1人1台端末の積極的な利活用について、これまで取り組んできた方策をより充実させながら、主体的・対話的で深い学びの実現のために、最適なICTの活用を目指す。

- 児童生徒同士の対話を増やす活用について、端末の活用そのものが目的とならないように、アナログとデジタルの効果的な融合による授業改善を図る。
- 特別支援学級や不登校児童生徒に対し、必要に応じてオンライン授業などの支援を行う。
- 発達段階に応じた持ち帰り学習の実施により、家庭や地域等と連携した学びの保障を図る。
- デジタル教科書の活用を進め、学びの充実を図る。
- 定期的に教職員向けのICT活用研修をおこない、活用スキルの底上げを図る。
- 教職員の創意を生かした授業改善に取り組むとともに、活用事例を共有することにより、一層のICT活用を図る。